

限局性前立腺癌に対する小線源療法を用いた前立腺部分治療

1. 研究の対象

2026年1月～2029年12月に当院で限局性前立腺癌に対して小線源療法を用いた前立腺部分治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

限局性前立腺癌では、手術や放射線療法（外照射または小線源療法）による前立腺全体治療、待機療法が広く行われていますが、前立腺内の病気の部分を治療する前立腺部分治療も選択肢として考えられるようになりました。前立腺部分治療は小線源療法を用いて行うことが可能であり、低侵襲な癌治療として期待されています。本研究では、通常の診療で得られる得られるデータを収集・解析し、小線源療法を用いた前立腺部分治療の成績を明らかにすることを目的にしています。

3. 研究期間

研究許可日 ～ 2029年12月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

以下のような、通常の前立腺癌診療の情報を使用します。なお、研究を目的としたの新たに試料の採取はありません。

生体検査、画像、健康/機能評価票、病理標本を含む試料のデータ 等

5. 研究に用いる試料・情報の取得方法

電子カルテから情報を取得します。

6. 外部への試料・情報の提供及び公開

本研究に関する試料・情報は以下の機関へ提供され、特定の関係者以外がアクセスできない状態で利用されます。個人が識別できる情報はパスワード処理のうえ、当センターの研究責任者のみがコンピュータ内で保管・管理するため、院外へ提供されることはありません。また、埼玉県立がんセンター病院長が責任をもって管理・監督します。

試料・情報を提供する機関

東京科学大学大学院： 研究代表者 藤井靖久（腎泌尿器外科、教授）
研究責任者 福田翔平（腎泌尿器外科、講師）

本研究成果については学会、論文等で報告する予定です。学会や論文で発表する際は、個人が特定される情報は削除したうえで発表を行います。

7. 研究組織

(代表研究機関)

東京科学大学大学院 研究代表者 藤井靖久
研究責任者 福田翔平

(共同研究機関)

埼玉県立がんセンター 研究責任者 松岡 陽

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には当該試料・情報の利用・提供を行いません（利用・提供を停止します）ので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780 番地

TEL：048-722-1111／FAX：048-722-1129

埼玉県立がんセンター

研究責任者：

埼玉県立がんセンター 泌尿器科 松岡 陽

研究代表者：

東京科学大学大学院 腎泌尿器外科 藤井靖久